イプロジオン水和剤

ロブラール水和剤

取扱メーカー: バイエル, 琉産

原体メーカー: FMC

成分:イプロジオン〔ジカルボキシイミド系 PRTR・1種〕…50.0%

性状:類白色水和性粉末45 µ m以下

毒性:普通物 消防法:——

【品目特件】 …………

- ●細胞膜に作用してその透過機能や細胞壁合成に 影響を及ぼし抗菌作用を発揮すると考えられる。
- 胞子の発芽阻害及び菌糸の伸長抑制効果が強い。
- ●治療効果はあまり期待できないが、予防効果が 強く、残効は長い。
- ●植物組織内への浸透移行性はあまりなく、また 根部よりの吸収も期待できないので、植物体に均 一にかかるよう茎葉(果)に十分散布する必要が ある。(茎葉散布)
- ●野菜類,豆類の灰色かび病菌及び菌核病菌,も も・おうとうの灰星病菌やりんご斑点落葉病菌, なし黒斑病菌のほか、広い範囲の病原菌に有効。
- ●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一 覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- ●所定量に少量の水を加えて糊状にねり,のち所 定量の水にうすめてよくかきまぜ散布液とする。
- ●散布液には展着剤を加用する。

〈野菜類〉

- ●体系防除への組み入れ……灰色かび病・菌核病に有効な反面、べと病・疫病などに効果が認められないので病害により、他剤との組み合わせ防除が必要。
- ●予防散布……発病前から予防的に散布する。
- ●みつばに使用する場合は、伏込前又は土寄せ前に切り取った地上部を食用に供しない。

〈ぶどう灰色かび病〉

●開花前から開花期にかけて重点的に予防散布する

〈もも・おうとう灰星病〉

●花腐れ防止のための開花時と果実の発病が起こ

る収穫20日前頃から収穫期にかけて重点的に散布する。

〈りんご斑点落葉病〉

●本病の防除は通常年間10回近い定期散布が行われているが、本剤は斑点落葉病防除の重要な時期に散布する。暖地型の早期多発地帯−6月~7月。北東北型−梅雨あけ~8月。

〈なし黒斑病〉

小袋かけ前、梅雨期、収穫期に防除するが小袋 かけ、梅雨期の防除に用いるのが効果的である。

〈豆類菌核病・灰色かび病〉

- ●開花始めから開花5日後までの間に散布する。 〈たまねぎ灰色かび病・灰色腐敗病〉
- ●灰色腐敗病防除は収穫直前(7日前まで)に散布する。
- ●灰色かび病は発生期間が長いので他剤との組み 合わせで使用する。
- ●耐性菌出現を防止するため連用はさけ、作用性 の異なる薬剤と組み合わせ輪番で使用する。
- ●常温煙霧として使用する場合は、専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧する。作業はできるだけ夕刻に行い、終了後6時間以上密閉する。定植直後や幼苗、軟弱苗など草勢の弱っている時は煙霧をさける。

【薬効・薬害等の注意】 …………

- ●アルカリ性農薬との混用はさける。
- ●共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項を参照。
- ●適用作物(かんきつ, りんご, ぶどう, すいか) の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●蚕に対して影響があるので、桑に使用後15日間は蚕に桑葉を給餌しない。

●粉末は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意する。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。

●散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	イプロジオンを含む 農薬の総使用回数
	灰色かび病	1000~ 2500倍		7日前まで	3回以内		
かんきつ	黄斑病	1000~ 1500倍					3回以内
	黒腐病	1000倍					
りんご し	斑点落葉病	1000~		14日前	5回以内		5回以内
なしもも	黒斑病 灰星病	1500倍		まで			
もカタリン	ホモプシス腐敗病	1000倍					
おうとう	灰星病	1000倍 1000~ 1500倍		前日まで	3回以内	散布	3回以内
	黒かび病	1000倍					
すももあんず	灰星病	1000~ 1500倍	200 ~ 700 ℓ	3日前まで			
びわ	灰色かび病			前日まで			
う め	灰色かび病 環紋葉枯病			45日前まで			2回以内
食 用 桑 (果実)	菌核病	1000倍		14日前まで			
	果実軟腐病	- 1000~ 1500倍		前日まで	4回以内		
キウイフルーツ	灰色かび病			開花期~ 落花期			4回以内
	貯蔵病害 (灰色かび病)	1500~ 2000倍		前日まで			
	灰色かび病	1000~		開花期~			
ぶどう	白腐病 黒とう病	1500倍		幼果期 但し,収穫 60日前まで			
マンゴー	灰色かび病	1000倍		7日前まで			
		1000111	60 ∼ 150 ℓ	7 11 13 7 5 7	3回以内		3回以内
はとむぎ	葉枯病	8倍	3.2 ℓ	21日前まで		無人ヘリコ プターによ る散布	
いちご	灰色かび病 黒斑病 菌核病	1500倍	100~	前日まで	4回以内	散布	5回以内 (種子粉衣は1
ピーマン	灰色かび病	1000~ 1500倍	300 ℓ	別日まで			回以内, は種 後は4回以内)
_	菌核病	1000倍					

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	イプロジオンを含む 農薬の総使用回数
	灰色かび病 黒枯病	1000~ 1500倍		前日まで	4回以内		5回以内 (種子粉衣は1 回以内, は種 後は4回以内)
なす	菌核病 すすかび病	1000倍					
きゅうり	灰色かび病	1000~ 1500倍	100 ~ 300 ℓ				
すいかメロン	・菌核病 つる枯病	1000倍					
ズッキーニ	灰色かび病	1000~ 1500倍					
キャベツ	菌核病 株腐病	1000倍		7日前まで			
薬用にんじん	灰色かび病 斑点病 斑点病	1000~ 1500倍		14日前まで			
にんじん	基品 例	1500倍					
	黒葉枯病	種子重量 の 0.5%	_	は種前		種子粉衣	
漬物用メロン	菌核病 つる枯病	1000倍		14日前まで	1回	散布	2回以内 (種子粉衣は1 回以内, は種 後は1回以内)
オクラ	黒斑病 灰色かび病	2000倍		前日まで	3回以内		4回以内 (種子粉衣は1 回以内, は種 後は3回以内)
トマト	灰色かび病	1000~ 1500倍					
ミニトマト	輪紋病 斑点病		100 ∼ 300 ℓ				
ごぼう	菌核病			3日前まで			
たまねぎ	葉枯病 灰色かび病 灰色腐敗病 黒斑病	1000倍		7日前まで			
2 36 4- 1 - 4	灰色かび病	1000~ 1500倍					
くきちしゃ	菌核病 すそ枯病	1000倍					
レタス	灰色かび病	1000~ 1500倍					
レタス	菌核病 すそ枯病	1000倍		14日芸まっ			
バジル	菌核病	2000倍		14日前まで			
はくさい	白斑病 黒斑病	1000~ 1500倍					

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	イプロジオンを含む 農薬の総使用回数
	ボトリチス葉枯症 黒斑病	1000~ 1500倍	100 ∼ 300 ℓ		3回以內	散布	4回以内 (種子粉衣は1 回以内, は種 後は3回以内)
ね ぎ	小菌核腐敗病	500倍	$0.5 \sim 1 \ \ell \ /\text{m}^2$	- 14日前まで		株元灌注	
	白絹病	500~ 1000倍	$1 \ell / m^2$	14111113			
あさつき わ け ぎ	ボトリチス葉枯症 黒斑病 小菌核腐敗病	1000~ 1500倍	100~			#1	3回以内
らっきょう	灰色かび病		300 ℓ	30日前まで		散布	2 H8/11
ばれいしょ	菌核病 夏疫病	1000倍		前日まで	4回以内		4回以内 (種いも散布
	黒あざ病	125倍	3ℓ/種い も100kg	植付前	1回	種いも 散布	は1回以内)
さやえんどう	灰色かび病	1500倍		前日まで			4回以内
えだまめ	灰色かび病 菌核病			30日前まで			(種子粉衣は1 回以内, は種
未成熟そらまめ	赤色斑点病	1000倍		前日まで	3回以内	散布	後は3回以内)
実えんどう だ い ず あ ず き	灰色かび病 灰色かび病 菌核病						
いんげんまめ	灰色かび病	1000~ 1500倍		21日前まで			3回以内
(3/01)/034)	菌核病	500~ 1000倍					
らっかせい	灰色かび病	1000~ 1500倍					
てんさい	葉腐病	500~ 1000倍					
食用ゆり	葉枯病	1000倍	100∼	7日前まで			
ししとう とうがらし類 (ししとうを 除く)	灰色かび病	2000倍	300 ℓ	3日前まで			3回以内 (種子粉衣は1 回以内, は種 後は2回以内)
葉たまねぎ	灰色かび病 灰色腐敗病 黒斑病	1000倍		14日前まで			
ひろしまな	白斑病						
未成熟ささげ	灰色かび病	1500倍	_	前日まで	2回以内		
葉ごぼう のざわな				30日前まで 35日前まで			
みぶな				45日前まで			
			호 -	根株養成期			4回以内 (種子粉衣は 1回以内, 散
	费林痘	1000 87		地上部切り			
みつば	菌核病	1000倍		取り前 但し、収穫			
(軟化栽培)				35 目前まで			布は2回以
			$2 \ell / m^2$	伏込時			内, 土壌灌注
				但し,収穫 30日前まで	1回	土壌灌注	は1回以内)

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	イプロジオンを含む 農薬の総使用回数
		1000倍	_	定植時	1回	定植時に	5回以内
畑わさび	墨入病	500倍	$3 \ell / m^2$	定植後 但し,収穫 30日前まで	3回以内	20時間苗 浸漬し, 更に定植 後に灌注 する。	(種子粉衣は 1回以内,苗 浸漬は1回以 内,定植後は 3回以内)
う ど	黒斑病	1000倍	100 ∼ 300 ℓ	根株養成期 但し,収穫 50日前まで		散布	4回以内 (散布は3回 以内,土壌灌 注は1回以内)
, .	菌核病	1000 Д	$6 \ell / m^2$	伏せ込み時 但し,収穫 21日前まで	1回	土壌灌注	
アスパラガス	茎枯病 斑点病	2000倍	100 ~ 300 ℓ	前日まで	5回以内		6回以内(種 子粉衣は1回 以内, は種後 は5回以内)
茶		1000~ 1500倍	200 ∼ 400 ℓ	摘採21日前 まで	2回以内	散布	2回以内
スターチス	灰色かび病		100 ∼ 300 ℓ	_	8回以内		8回以内 (種子粉衣は 1回以内)
りんどう	苗腐敗症 (アルタナリア菌)	250~ 500倍	_	は種前	1回	48時間 種子浸漬	2回以内 (種子浸漬は
9 2 2 9		1000倍	100 ~ 300 ℓ	本葉展開直 後~定植前	2回以内	散布	1回以内)
たばこ	菌核病	1500~ 2000倍	200m ℓ /株	大土寄時	1回	株元灌注	1 🗉
芝	葉腐病 (ブラウンパッチ) ヘルミントスポリウ ム葉枯病 葉腐病	1000~ 1500倍	1 \(\ell / m^2 \)	発病初期	8回以内	散布	8回以内
日本芝西洋芝(ベントグラス)	(ラージパッチ) ダラースポット病	1300 [
野 菜 類 花 き 類	アルタナリア菌 による病害	種子重量 の 0.5%	_	は種前	1回	種子処理 機による 種子粉衣	1回

作物名	適用場所	適用病害名	10 a 当り		使用時期	本剤の	使用方法	イプロジオンを含む
TF物名 Di	適用場 所		使用量	使用液量	使用时期	使用回数	使用力压	農薬の総使用回数
きゅうり トマトミニトマト	温室, ガラ ス室, ビニ ールハウス 等の密閉で きる場所	灰色かび病	200g	5ℓ	収穫前日まで	3回以内	常温煙霧	5回以内 (種子粉衣は1 回以内, は種 後は4回以内) 4回以内 (種子粉衣は1 回以内, は種 後は3回以内)
ぶどう				6 ℓ	開花期〜 幼果期, 但し,収 穫60日 前まで			3回以内